

地震・津波災害に備えて②

東日本大震災の津波被害を教訓に、津波から身を守るためにはどのように逃げるかなど、日常からの備えと迅速な行動が重要となります。

●津波発生のおそれがあるときは

正しい情報の入手



テレビやラジオ、インターネットや防災行政無線などで正しい情報を入手しましょう。

すばやく行動



津波到達のおそれがある場合には、持ち物を少なくして、すぐに避難しましょう。

より早く、より高く



津波は予想より、高くなる場合があります。急いで、高台などの一時避難場所へ逃げましょう。

海や川に近づかない



津波のおそれがあるときは海岸から離れましょう。また、津波は河口から川をさかのぼり、堤防を越えてくる恐れもあります。津波発生時には、川に近づかないようにしましょう。

逃げ遅れたら頑丈な建物へ



万が一逃げ遅れた場合には、付近の高い建物（鉄筋コンクリート造りの3階以上）へ、一時的に避難しましょう。

●津波の特徴

津波の特徴は、次のとおりです。津波から避難する際には、次の現象に注意してください。

津波は早い!!



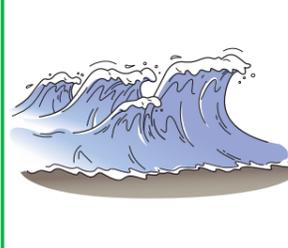
津波は、オリンピックの短距離選手なみのスピードで陸上に押し寄せます。

津波は強い!!



津波は押し寄せるエネルギーが強く、ひざ下くらいの波の高さでも、大人が簡単に流されます。

津波は何度も繰り返す!!



津波は何度も繰り返します。警報・注意報が解除されるまで、海岸には近づかないでください。

津波は突然襲ってくる!!



津波は前触れなく、襲ってくる場合があります。直前に波が引くことなく、大きな波が押し寄せる場合もあります。

●津波警報・津波注意報について

地震による津波が予想される場合は、気象庁から地震発生後約3分で、テレビやラジオ、インターネットなどを通じて、津波警報・注意報が発表されます。

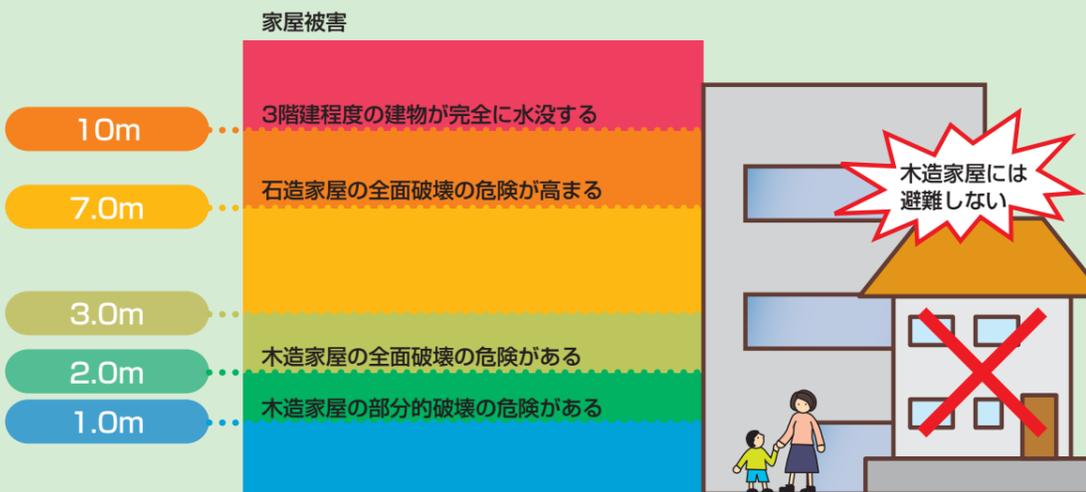
津波警報は東日本大震災を契機に改正され、今後は非常事態であることを伝えるため、東日本大震災クラスの地震で津波の発生が想定される際には「巨大」という言葉を使った大津波警報が発令されます。

	予想される津波の高さ		巨大地震の場合の発表	取るべき行動
	高さの区分	発表する値		
大津波警報	10m～	10m超	巨大	ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	5m～10m	10m		
	3m～5m	5m		
津波警報	1m～3m	3m	高い	ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	20cm～1m	1m	(表記しない)	ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

●津波の高さと被害の関係

木造家屋では、津波の浸水深が1mを超えると部分的な破壊、2mを超えると全面破壊の危険があります。ただし、浸水深が浅くても船舶や木材などの漂流物の直撃を受ければ、被害が出る恐れがあります。

浸水深の目安



津波波高 (m)	1	2	4	8	16	32
木造家屋	部分的破壊	全面破壊				
石造家屋	持ちこたえる		全面破壊			
鉄筋コンクリートビル	持ちこたえる			全面破壊		
漁船		被害発生	被害率 50%	被害率 100%		